



ご意見・ご感想 その1

平成27年1月17日の学校公開アンケートの自由記述欄にいただいたご意見、ご感想について紹介させていただきます。

●児童の活発な授業態度はとても感心しました。

○わたしたちの羽合小学校では学習のねらいを行動目標化しています。そのために、話し合ったり、説明しあったり、課題を自力解決する場面やみんなで答えに迫っていく場面を学習の中に位置づけるようにしています。自分たちの力で課題を解決することが「学ぶ力」を伸ばしていきます。そのためにも、こどもたち一人ひとりの学習での活動量がもっともっと増えていくように努力したいと思います。

●子供の声がとても小さい。

○こどもたちが集団の中で学ぶことの意義は自分だけでは思いつかない、考えつかない多様な考え方に触れ、自分だけでは越えられない壁を越えることにあります。みんなの力を借りて伸びる事ができると言い換えることもできます。そのためにはそれぞれの考えや意見を交換し合う事がとても重要です。声が小さい理由には様々な理由が考えられますが、私達は「聞き手」の「聴き

方」が声を引き出すのではないかと考えています。そのために「学習規律の徹底」を図ったり、もっと広く捉えると、暖かな人間関係を作る「学級作り」が大切なのだと考えています。頑張らねばなりません。ご指摘ありがとうございます。

●算数の時間ではテストを意識した授業だったのでとても良かったと思いました。

○テストはNo. 85の中でお話したとおり、こどもたちのつまづきや学習の定着の度合いを確認し長所を伸ばし弱点を克服するために行うものです。また、テストを通じて、指導する教職員がより効果的な指導や支援の方法を見出すためにも重要です。テストを意識することで、こどもたちがつまづきやすい、ミスしやすいポイントを重点的に指導する事ができ、よりわかりやすい授業を行う事ができます。テストはこどもたちにとっても教職員にとっても、これからの学習のスタートになるものです。様々な学習の場面でしっかり意識して学習活動を行いたいと思います。

感想を寄せていただいたみなさん、ありがとうございました。これからもご期待に応えられるよう努力していきたいと思います。

【大寒】

1年を24の季節（二十四節季）に分ける日本では、1月20日から2月4日の立春までを大寒といって、一年で一番寒い頃としています。この頃には寒さに積極的に打ち勝つことで心を鍛える行事（寒稽古や寒行など）が行われます。寒さに負けず布団からガバッと起きる！冷たい水で顔を洗う！これも寒稽古です。こどもたちはいかがでしょうか？ 羽合小学校 寺谷英則